

**第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート**  
**第11回実施分（令和5年4月7日開催） 自由記載欄**  
**【傍聴者 会場5名・オンライン11名】**

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者3名記載）

- ・市長との意見交換の内容はとても興味深いものでした。

学校改築についての市長の意見は考えさせられました。私は部活動が成り立たない点も大事だとは思いますが、中学校で小規模、少人数で、集団生活を行うことにもメリットはあると思っています。例えば思い切って武蔵野市の中学校は独自で30人学級にするなども考えてははいかがでしょうか。改築の議論と教育のあり方の議論を分けて考えてほしいところです。

- ・学校給食無償化、私立、市立を選択しなかった子が考えられていない。

- ・不登校特例校の話では、不登校を子ども個人の問題ととらえてないか不安になった。

- ・「中学校統廃合」

近隣の都立高が中高一貫化する現状を見れば、武蔵野市の公立中学進学率が3分の2ほどであること現状を所与で考えねばならないという市当局の認識は間違っていないと思いました。その中で、武蔵野市における公立中学校の教育にどのような目標と目的と特色をもたせるのか、それを支える基本的な理念が欠けているのではないか・・・、もしそうならば、誰がそれを考えていくべきなのか・・・。次回の、教育委員会委員との対話における、重要課題であるように感じました。

- ・「市民自治」／「コミセン」問題

また武蔵野市の市政の歴史においても、また自治基本条例においても、「市民自治の基盤」となることを想定されている「コミュニティ」をいかに再生し、活性化していくのか、行政、議会、市民それぞれが問題意識を共有し議論していくことが必要であると感じます。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者3名記載）

- ・以前、市民会議を傍聴した時に思ったのですが、市民参加の武蔵野方式があまり理解されていなくてちょっとがっかりな感じを受けた時もありました。どうしたら市民参加が広がっていくか、市政をつくっていくことの大切を感じていくことができるか、考えさせられます。

- ・「学校を使って」というのは、一学期が始まりけっこう難しいですが、学習用コンピュータ、オンラインを活用して意見が聞ければ面白いかと思います。
- ・「こども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する検討委員会」というのがあります。
- ・「給食」  
拒食症児、アレルギーを持つ児童の問題に加えて、多文化共生状況が進んだ場合に「多様性享受」のスローガンのもとに「異なる食文化の強制」することなく「食文化の共生」を担保するには、はたしてどれほどの追加費用が必要となるのか……。新たな議論が必要ではないかと、感じました。
- ・委員の方が言及されていた「オーヴァー・クオリティー」の問題、多量のパブリック・コメントを確認しましたので、自分なりに、あらためて考えてみたいと思います。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。  
また、委員名については削除しています。